

Panasonic[®]

フル2線式リモコン照度センサスイッチ
(光アドレス設定式) (動作照度調整機能付) (天井取付形)

品番 WRT 3657

定格 ±24 V 15 mA

施工説明書

施工店様へのお願い

●施工前に必ずこの説明書をお読みください。

このセンサスイッチは、屋外からの自然光の明るさを検知して、照明器具を ON/OFF(減光)制御します。

安全上のご注意

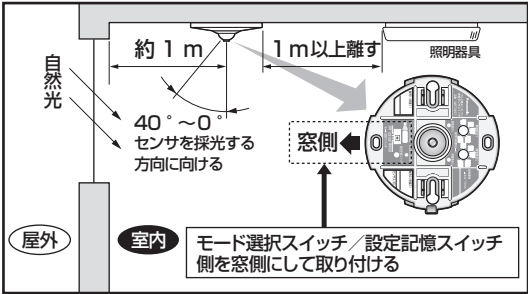


警告

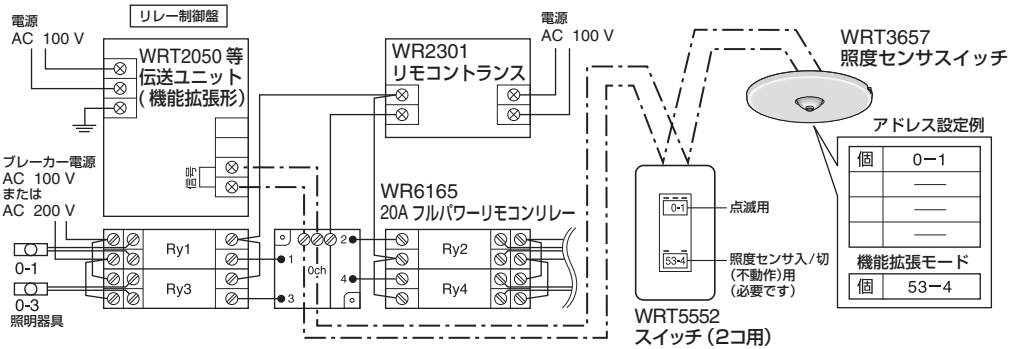
●照明以外の負荷機器（換気扇、電動機器、空調機器など）の制御には使用しないでください。誤動作によるけがや事故の原因になります。

施工上のご注意

- 自然光が採光できる右図の位置を目安に取り付けてください。
- 検知可能照度は天井面で 50 lx ～ 2000 lx までです。但し、100 lx 未満になると誤差が大きくなります。
- 周囲の温度変化により、設定照度と動作照度にずれが生じる場合があります。
- 必ずセンサ部は窓側に向けて取り付けてください。
- 照度検知部には指向性があり、光の入射角度により実際に照度計で計った値と異なる場合があります。また、太陽光による照度変化を検知して動作しますので蛍光灯や白熱灯の光の影響を受ける場合は、検知照度が変化します。実際何 lx で検知しているかは照度表示 LED の点滅を確認してください。このため、北向きの窓に取り付けることをお勧めします。東向きや西向きの窓に取り付けた場合、外光の入射が朝夕で異なり、動作照度に誤差が生じます。



配線例



- スイッチ (WRT5551 等) で照度センサスイッチの「入 (動作)」 「切 (不動作)」を切換えることができます。「入」 (赤表示) ……照度センサの検知照度に合わせ、照明が動作します。「切」 (緑表示) ……照度センサの検知照度に入っても照明は動作しません。
- スイッチ (WRT5551 等) にネームカード (同梱) を入れるとスイッチの用途が分かりやすくなります。切り取ってご使用ください。
- 壁スイッチで照度に関係なく照明を点灯 / 消灯させることがある場合、必ず照度センサ入 / 切スイッチを設置し、照度センサを「切」にしてから、照明の点滅を行ってください。照度センサを「切」にしないと、動作が継続された状態のままとなるため、夜間等に照明が点灯 / 消灯することがあります。
- 夜間、照明を OFF のまま保持する場合は、必ず照度センサ入 / 切スイッチを切り (スイッチの LED は緑色点灯)、その後、点滅用のスイッチ等で照明を OFF してください。

施工後の設定

- ◆初期設定を行ってから検知照度調整・アドレス設定を行ってください。
- ◆初期設定を行わない場合は、天井面照度が基準になります。
- ◆検知照度の調整は、基準位置を決めてから取付位置照度との相関を記憶させる必要があります。照度計で机上面の照度を測定して、下記の手順で初期設定を行ってください。
- 注** 照度が 4000 lx を超える場合は相関係数の記憶ができません。4000 lx 以下になる時間帯に設定を行ってください。

1 初期設定 (照度の相関を記憶させる)

●区画1の明るさを2段階で制御する場合 (1カ所の基準位置で測定します)

例：少し明るくなったら減光、さらに明るくなったら、消灯させる場合等の初期設定です。

① 消灯し、基準位置Aの照度を測定する

例：1000 lx のとき

② 照度センサのモード選択スイッチを『初期』に合わせる

③ 照度設定1のつまみを『1000 lx』に合わせる

●初期設定の場合は、橙色の数字で設定します。

●照度設定2のつまみは、左にいっぱい回しておいてください。(照度設定1の相関係数が照度設定2の相関係数にも記憶されます。)

④ 設定記憶スイッチを約1秒押す

●受信表示 / 初期表示のLEDが点滅し、15秒後に記憶が完了します。(正常に記憶されるとLEDは消灯します。)

●明るさに応じて区画1と区画2を個々に制御する場合 (2カ所の基準位置で測定します)

例：少し明るくなったら区画1を消灯、さらに明るくなったら、区画2を消灯させる場合等の初期設定です。

① 消灯し、基準位置Aと基準位置Bの照度を測定する

例：基準位置A 1000 lx、基準位置B 500 lx のとき

② 照度センサのモード選択スイッチを『初期』に合わせる

③ 照度設定1のつまみを『1000 lx』に照度設定2のつまみを『500 lx』に合わせる

●初期設定の場合は、橙色の数字で設定します。

④ 設定記憶スイッチを約1秒押す

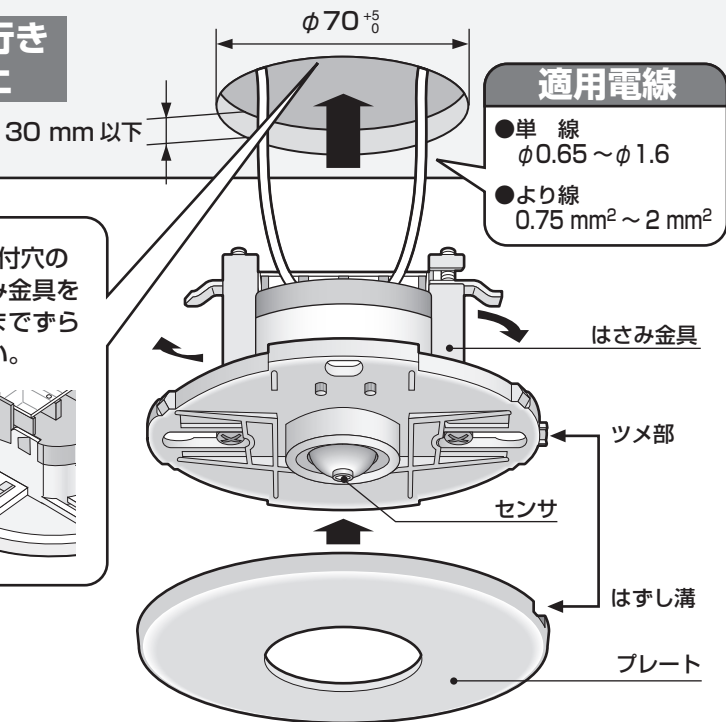
●受信表示 / 初期表示のLEDが点滅し、15秒後に記憶が完了します。(正常に記憶されるとLEDは消灯します。)

正常に記憶できない場合は…

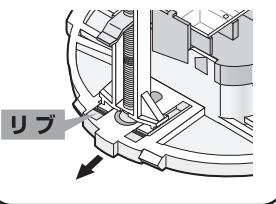
相関係数 (K) の記憶可能範囲は $K=0.5 \sim 20$ までです。正常に記憶できない場合は、相関係数 $K=1$ で記憶されています。(LEDが点灯しつづけます。)
※基準位置が2カ所の場合は、どちらか一方でも記憶できないとLEDが点灯します。
※設置条件によりどうしても相関係数が上記範囲に入らない場合は、設定記憶スイッチを約3秒間押し、 $K=1$ として天井面照度で動作照度設定をしてください。
※出荷時の設定は、相関係数 (机上照度 / 天井照度) ($K=1$) です。

ボックスなし工事の場合

天井板の奥行き
50 mm以上



● $\phi 83^{+8}_{-8}$ の取付穴の場合、はさみ金具をリブの位置までずらしてください。

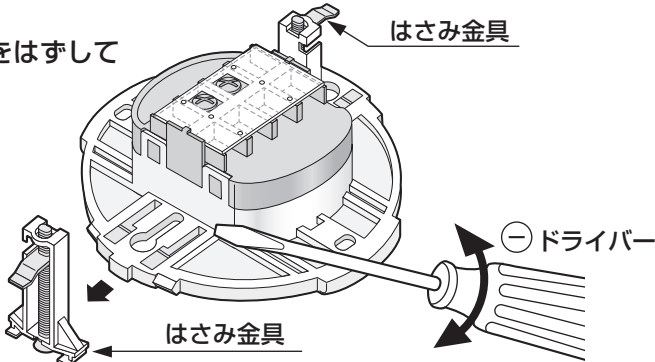


ボックス工事の場合

適合ボックス

- 中形四角アウトレットボックス
またはコンクリートボックス丸孔カバー付 深さ 54 mm 以上
- 八角アウトレットボックス
またはコンクリートボックス丸孔カバー付 深さ 54 mm 以上
- プレキャストコンクリート用
八角アウトレットボックスまたはコンクリートボックス

▶はさみ金具ははずしてください。



正常に記憶できない場合は…

相関係数 (K) の記憶可能範囲は $K=0.5 \sim 20$ までです。正常に記憶できない場合は、相関係数 $K=1$ で記憶されています。(LEDが点灯しつづけます。)
※基準位置が2カ所の場合は、どちらか一方でも記憶できないとLEDが点灯します。
※設置条件によりどうしても相関係数が上記範囲に入らない場合は、設定記憶スイッチを約3秒間押し、 $K=1$ として天井面照度で動作照度設定をしてください。
※出荷時の設定は、相関係数 (机上照度 / 天井照度) ($K=1$) です。

2 検知照度の調整及び負荷制御アドレス設定

1 照度センサのモード選択スイッチを『点検』に合わせる

グループ制御したい場合 ※個別の場合も同じです。

(例：500 lx と 1000 lx の2段階で制御させる場合)

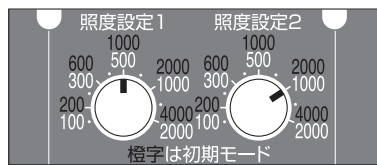
初期設定で基準位置を1ヵ所に設定された場合は、一つの区画を2段階で制御(*)可能です。
注) 照度設定1と照度設定2の不動作領域が重なると不動作領域が狭くなり、設定照度の近辺で点滅を繰り返す場合があります。

初期設定で基準位置を2ヵ所に設定された場合は、二つの区画を個々に制御(*)可能です。

(*)…ON・OFF動作で1制御となります。

2 照度設定1のツマミ部を『500 lx』に合わせる 照度設定2のツマミ部を『1000 lx』に合わせる

※白字の数字で設定します。



3 アドレス設定器でアドレス No. を設定する

詳細はアドレス設定器の取扱説明書をご覧ください。
タイマ設定はできません。
※アドレス設定にはWRT9500KまたはWRT9600をご使用ください。

照度設定1
(500 lx)
照度設定2
(1000 lx)

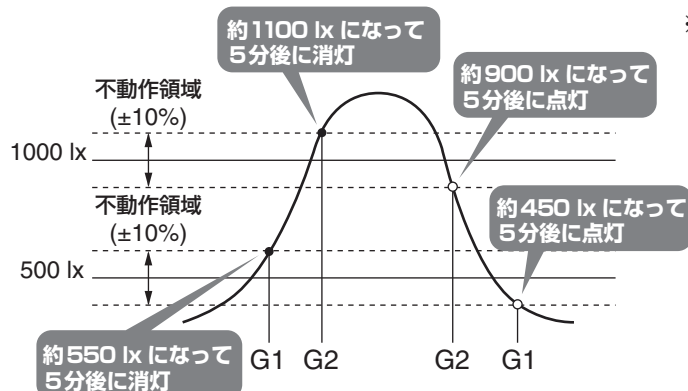
	アドレスNo.	タイマ
照度設定1 (500 lx)	G 1	
照度設定2 (1000 lx)	G 2	

4 アドレスを入力し、設定を完了する

5 受信表示/初期表示が点滅(5回)し、ランプが消えます。

6 動作確認後、モード選択スイッチを「通常」に戻す

<グループ(個別)アドレス設定後の動作>



※グループ制御の点灯と消灯を逆にする場合(明るいときはさらに明るく、暗いときはさらに暗くする)は、3段目、4段目に設定してください。但し、1段目、2段目に設定されていると無効になります。

	アドレスNo.	タイマ
	G 1	
	G 2	

パターン制御したい場合

(例：500 lx と 1000 lx の2段階で制御させる場合)

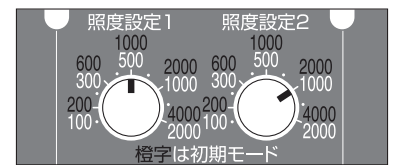
初期設定で基準位置を1ヵ所に設定された場合は、一つの区画を2段階で制御(*)可能です。
注) 照度設定1と照度設定2の不動作領域が重なると不動作領域が狭くなり、設定照度の近辺で点滅を繰り返す場合があります。

初期設定で基準位置を2ヵ所に設定された場合は、二つの区画を個々に制御(*)可能です。

(*)…ON・OFF動作で1制御となります。

2 照度設定1のツマミ部を『500 lx』に合わせる 照度設定2のツマミ部を『1000 lx』に合わせる

※白字の数字で設定します。



3 アドレス設定器でアドレス No. を設定する

詳細はアドレス設定器の取扱説明書をご覧ください。
※アドレス設定にはWRT9500KまたはWRT9600をご使用ください。

照度設定1
(500 lx)
照度設定2
(1000 lx)

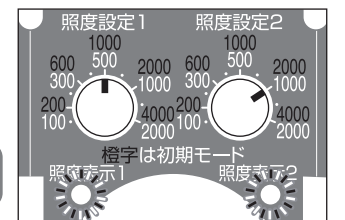
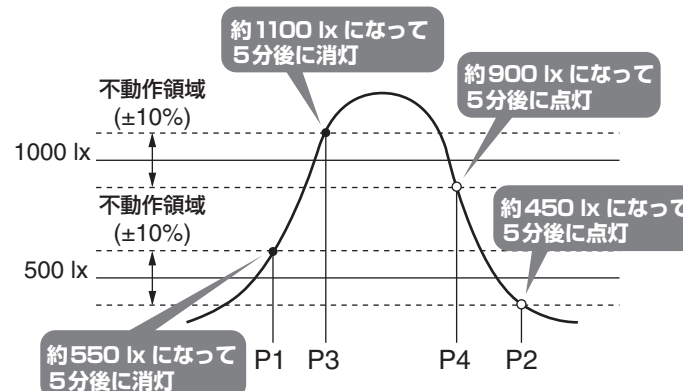
	アドレスNo.	タイマ
照度設定1 (500 lx)	P 1	
	P 2	
照度設定2 (1000 lx)	P 3	
	P 4	

4 アドレスを入力し、設定を完了する

5 受信表示/初期表示が点滅(5回)し、ランプが消えます。

6 動作確認後、モード選択スイッチを「通常」に戻す

<パターンアドレス設定後の動作>



不動作領域に入ると照度表示が点滅します。

3 照度センサ「入」・「切」アドレス設定

- フル2線式リモコンスイッチから照度センサスイッチの「入(動作)」「切(不動作)」の切換えができます。
- アドレスは個別(0ch-1～63ch-4)に設定可能ですが、同一チャンネルにリレーT/Uのアドレスとセンサ入/切のアドレスを設定しないでください。不動作、誤動作の原因となります。
例：リレーT/Uを0ch～20chに設定した場合、センサ入/切のアドレスは21ch以降のアドレスに設定してください。

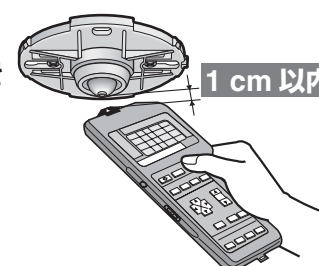
1 モード選択スイッチを『機能拡張』に合わせる



2 アドレス設定器でアドレス No. を設定する

	アドレスNo.	タイマ
個別	1-1	

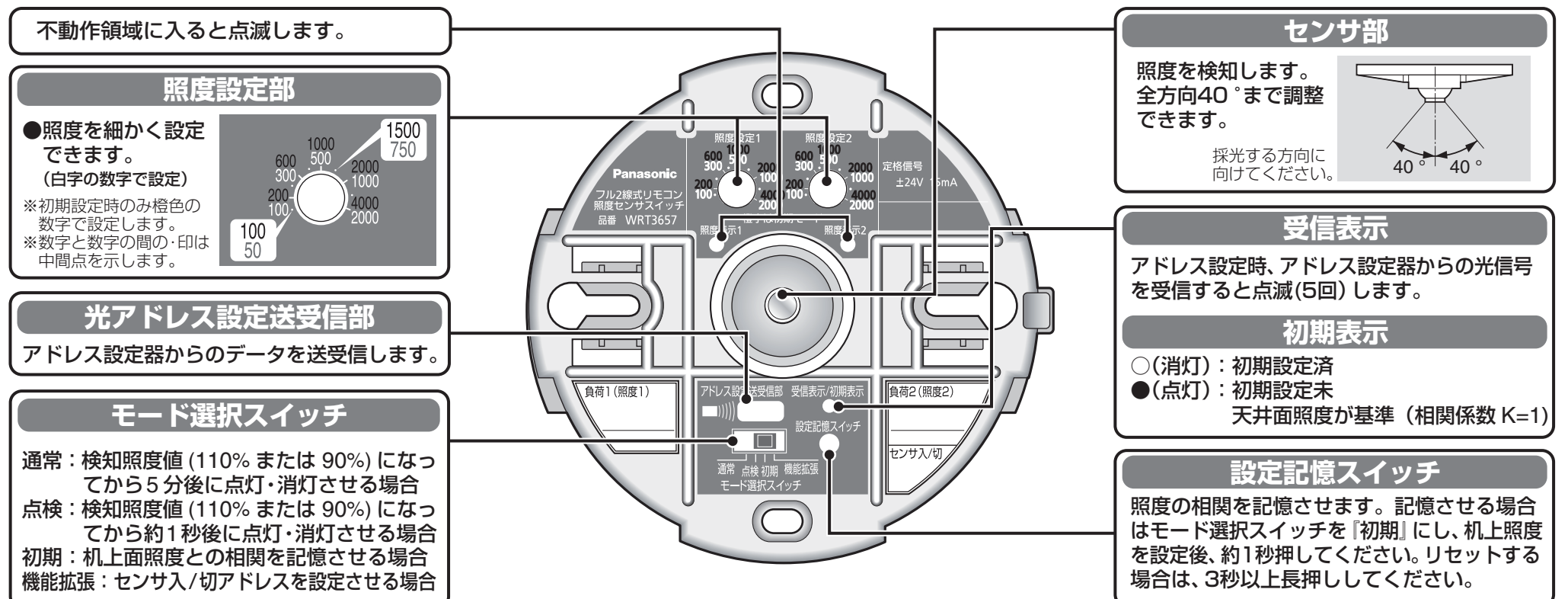
3 アドレスを入力し、設定を完了する



4 受信表示/初期表示が点滅(5回)し、ランプが消えます

5 動作確認後、モード選択スイッチを「通常」に戻す

各部の名称とはたらき



パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 電話 0120-283338 (フリーダイヤル) FAX 0120-551626 (フリーダイヤル)